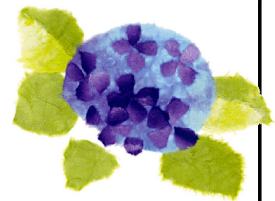


「雨の日の交通事故防止」 ～速度を10%落として、車間距離は長めに～

先日、関東地方が梅雨入りし、宮城県でも間もなく梅雨を迎えると考えられます。雨の日は路面が滑りやすくなったり、視界が低下するなど運転環境が悪くなり、事故が多発します。また近年は、局地的かつ短時間に大量の雨をもたらす『ゲリラ豪雨』が多発しています。雨の日に注意すべき点についてご紹介しますので安全運転にお役立てください。

雨の日は運転環境が悪化する

- 路面が滑りやすくなる
路面が滑りやすくなり、制動距離が長くなる
 - ・ 鉄板、マンホールが危険
摩擦係数が低いのでスリップに注意
 - ・ 水たまりや雨量の多い路面
ハイドロプレーンに注意
- 視界が悪化する
視界が悪くなり判断が遅れたり、歩行者も傘などで視界が悪くなる



運転前にチェックしよう

- ・ ワイパー ----- ゴムが劣化していると十分に拭き取れなくなる
- ・ ガラス面の油膜 -- 油膜の乱反射で視界がさえぎられる
- ・ サイドミラー ----- 水滴がつくと視界が確保できない
- ・ タイヤ ----- 空気圧や溝の深さをチェックしよう

運転するときの注意事項

- ・ 速度は10%ダウン。そしてマナー良く
時間に余裕を持って 歩行者などへの泥跳ねに注意する
- ・ 急ハンドル、急ブレーキは禁物
濡れた路面での急ハンドルなどで横滑りを起こす危険が増加する
- ・ 車間距離は長めに
制動距離が延びるので車間距離を長くする
- ・ 歩行者、自転車の動きに注意
歩行者や自転車も視界が狭くなり自動車の動きに気づかない場合もある
- ・ ガラスの曇りに注意
エアコンの除湿機能を使って快適な視界を確保
リアガラスのリアデフォグラーを活用する

